

2012年度経営プラン Q1フォロー

2012年8月2日
古河電気工業株式会社
CFO 櫻 日出雄

- 1. P/L、B/S 説明**
- 2. 営業利益増減分析**
- 3. セグメント別分析**
- 4. 品種別売上数量**
- 5. 今期の取り組み**
- 6. 業績予想**

12Q1実績 対上半期予想で順調なスタート FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

	a	b	b/a
P/L	12上半期予想	12Q1実績	上半期進捗率
売上高	4,600	2,229	48%
営業利益	80	37	46%
経常利益	65	36	55%
当期純利益	15	6	40%

12Q1P/L実績(前年同期比)

FURUKAWA ELECTRIC

P/L	a	b	b-a	(単位:億円)
	11Q1	12Q1	増減	増減要因
売上高	2,387	2,229	-158 -6.6%	特殊要因 -80、実質 -78 うち地金-79、新規連結+33、 在外子会社為替-34
営業利益	65	37	-28	特殊要因-3(P.6参照)
経常利益	65	36	-30	
特別損益	-15	-5	+10	
法人税、調整額	-34	-19	+14	
少数株主損益	-14	-6	+8	古河スカイ分(+6)
当期純利益	3	6	+3	

(注)損益的にマイナス項目は-をつけた

12Q1末B/S実績(前年度末比)

FURUKAWA ELECTRIC

(総資産、有利子負債の単位:億円)

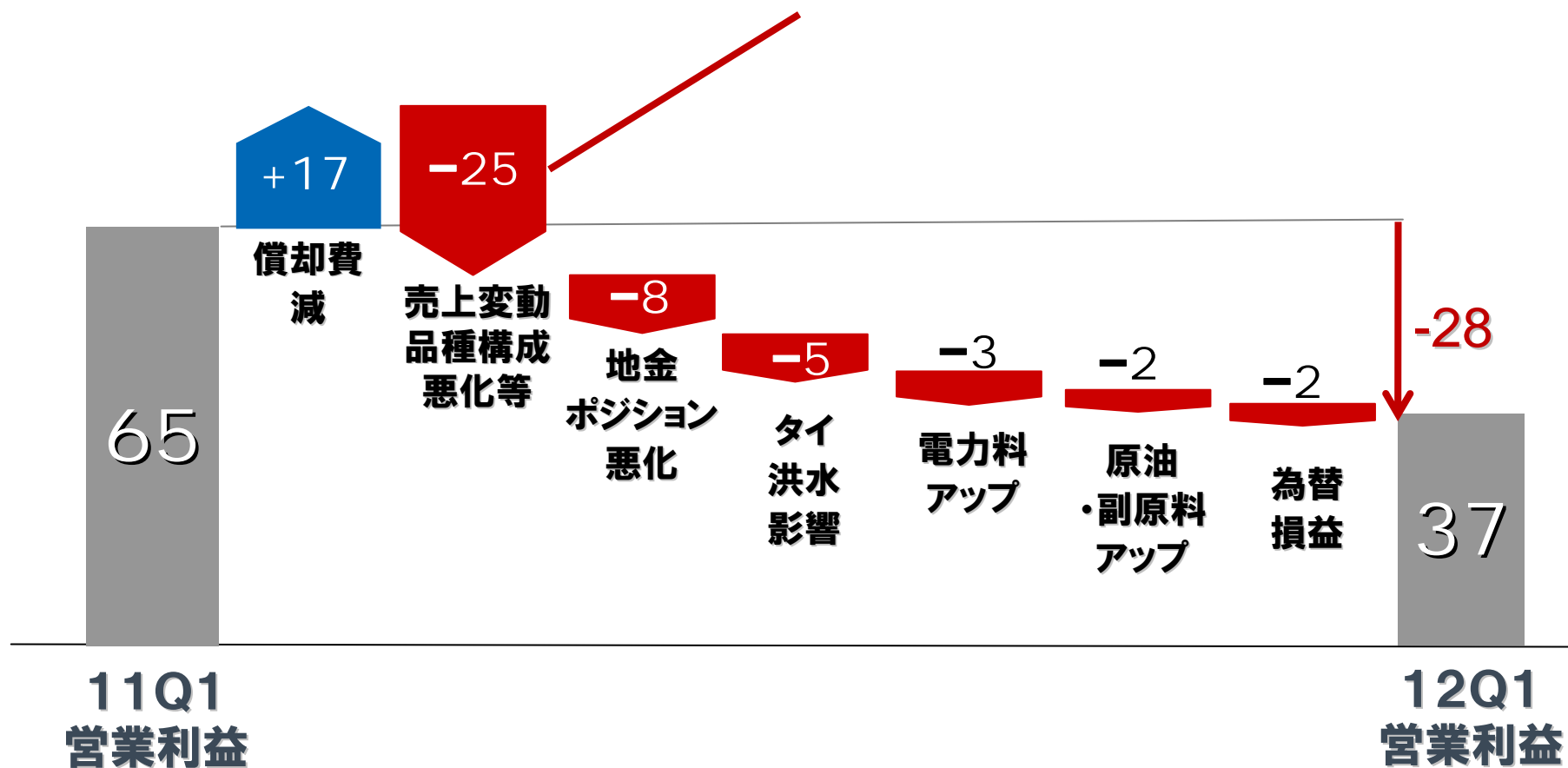
B/S	a	b	b-a
	11Q4末	12Q1末	増減
総資産	7,901	8,079	+178
有利子負債	3,252	3,409	+157
自己資本比率	18.3%	18.1%	-0.2
D/Eレシオ	2.25	2.33	+0.08
総資産回転率	1.21	*1.10	-0.11
ROA (営業利益ベース)	3.3%	*1.8%	-1.5

*年率換算値

12Q1 (12年4~6月) 営業利益増減分析

(単位:億円)

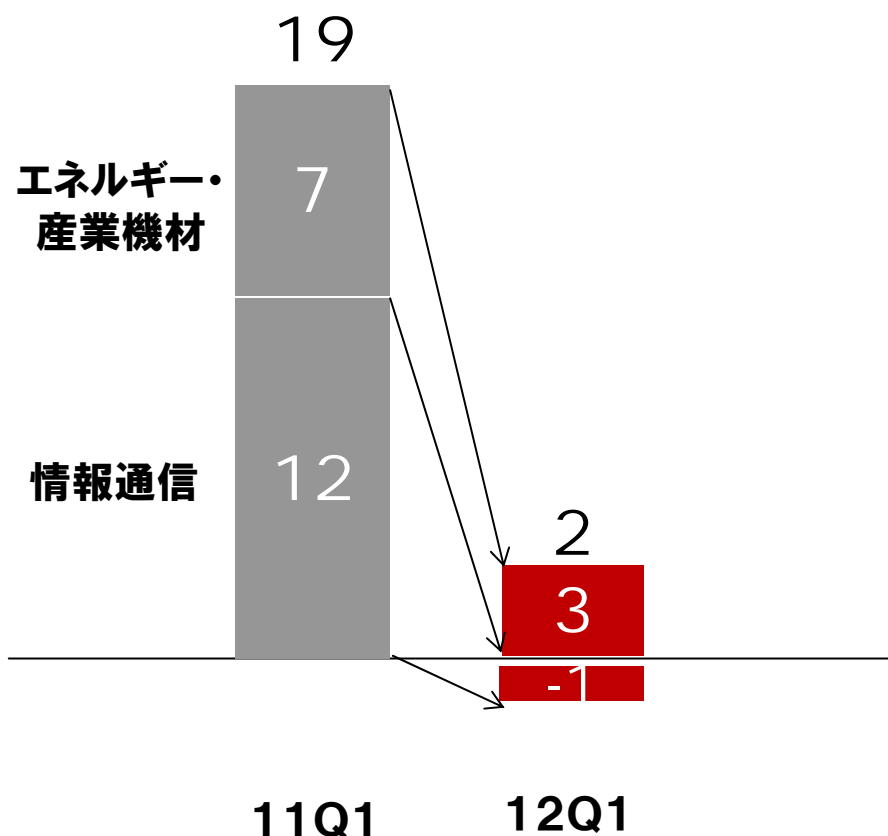
**償却費減による+17、地金ポジション悪化・タイ洪水などの-20
の特殊要因計-3を除くと、実質増減は-25**



セグメント別営業利益推移(前年同期比)

FURUKAWA ELECTRIC
(単位:億円)

伝送インフラ系:19⇒2(-17)



【情報通信】

●光ファイバ・ケーブル 9⇒5(-4)

北米のプロジェクト向けが好調でしたが、国内で前年同期に復旧需要があったことなどで、減益となりました。

●フォトニクス・ネットワーク 2⇒-7(-9)

通信用レーザの製造でタイ洪水の影響が一部残ったことや、ネットワークで鉄道トンネル用不感帯システムやCATV向け機器の需要が端境期だったことなどで、大幅減益となりました。

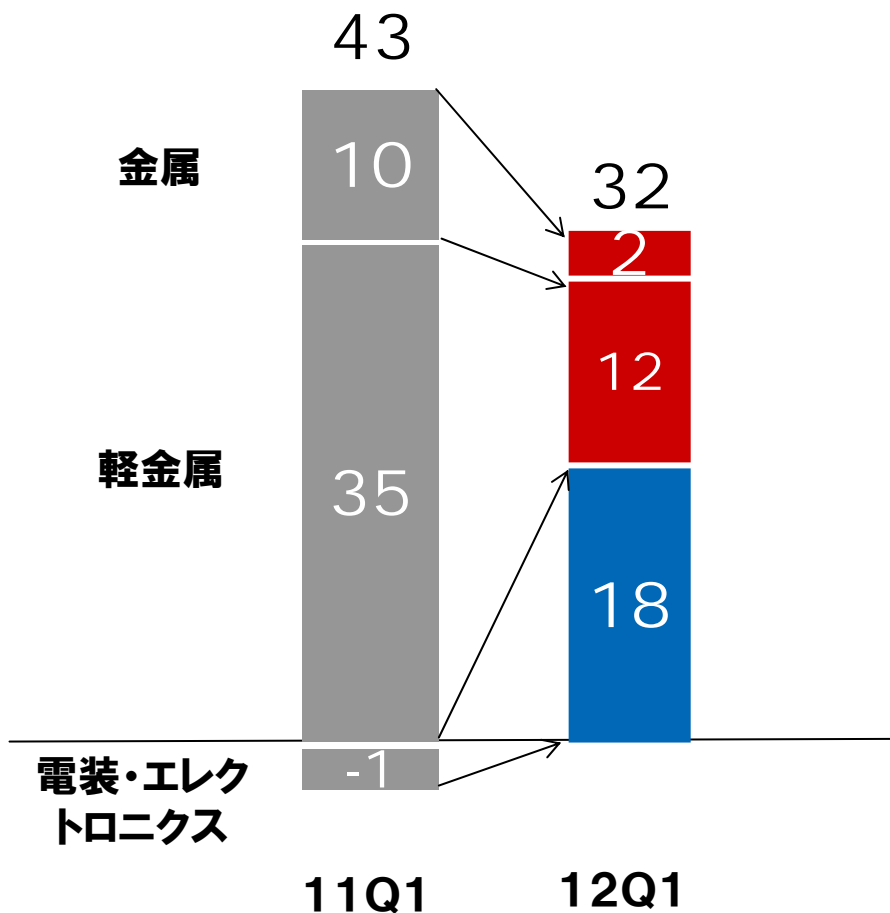
【エネルギー・産業機材】

●LED液晶TV用MCPETは生産性向上により収益性が改善し、スマホ・タブレットPC用半導体向けテープの需要が伸長しましたが、中国や国内の電力会社向け高圧ケーブル・部品の需要が低調だったため、減益となりました。

セグメント別営業利益推移(前年同期比)

FURUKAWA ELECTRIC
(単位:億円)

高機能素材系:43⇒32(-11)



【電装・エレクトロニクス】

●自動車部品のワイヤーハーネスの需要が回復したことや、アルミブランク材や巻線が好調だったことに加え、ガラス基板事業の撤退で損失が減少したことなどで、大幅増益となりました。

【金属】

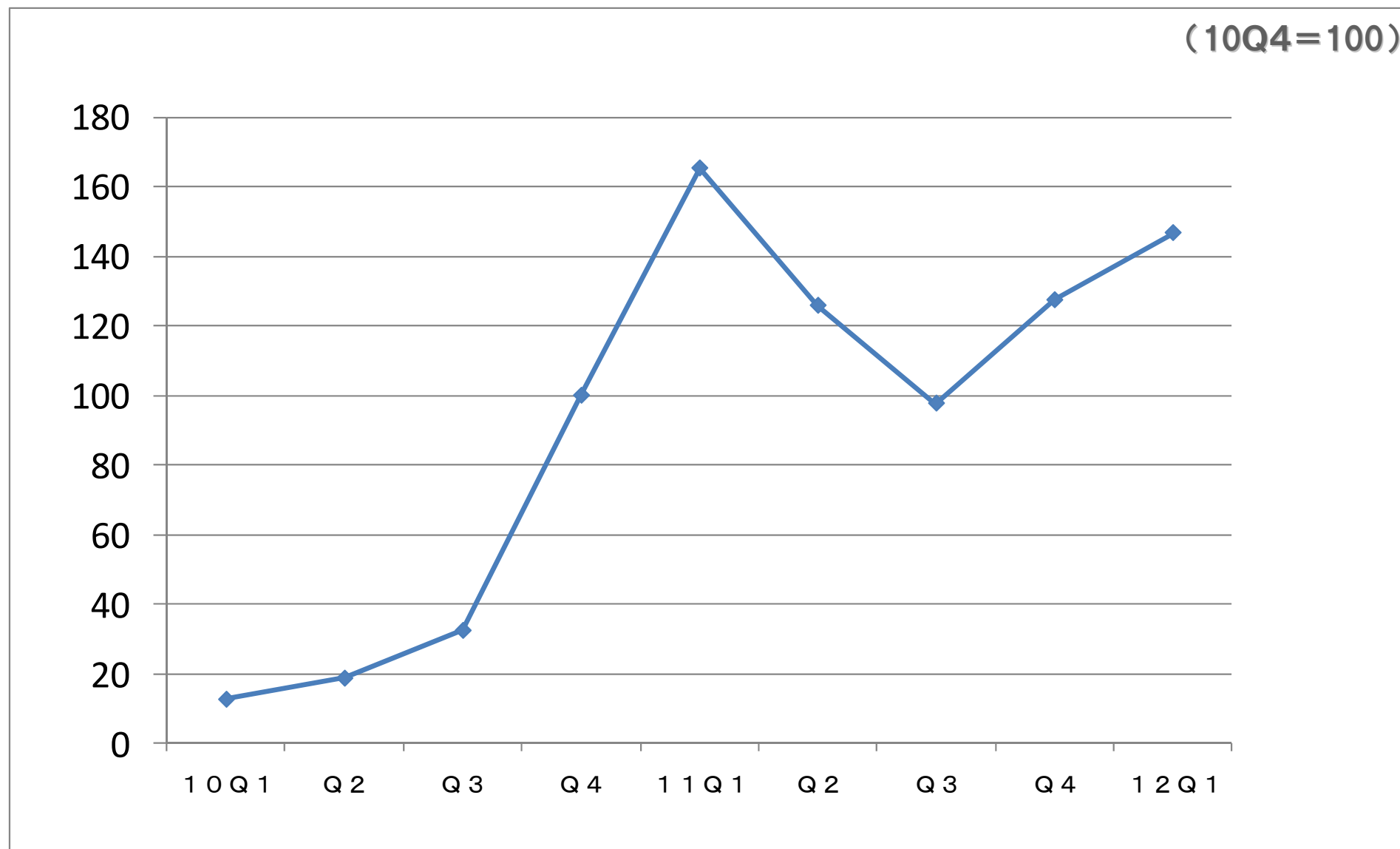
●エレクトロニクス分野が不振だったため、リチウム電池・プリント基板用銅箔や、リードフレーム用銅条などが低調でした。その他タイのエアコン用銅管需要も伸び悩んだことから、減益となりました。

【軽金属】

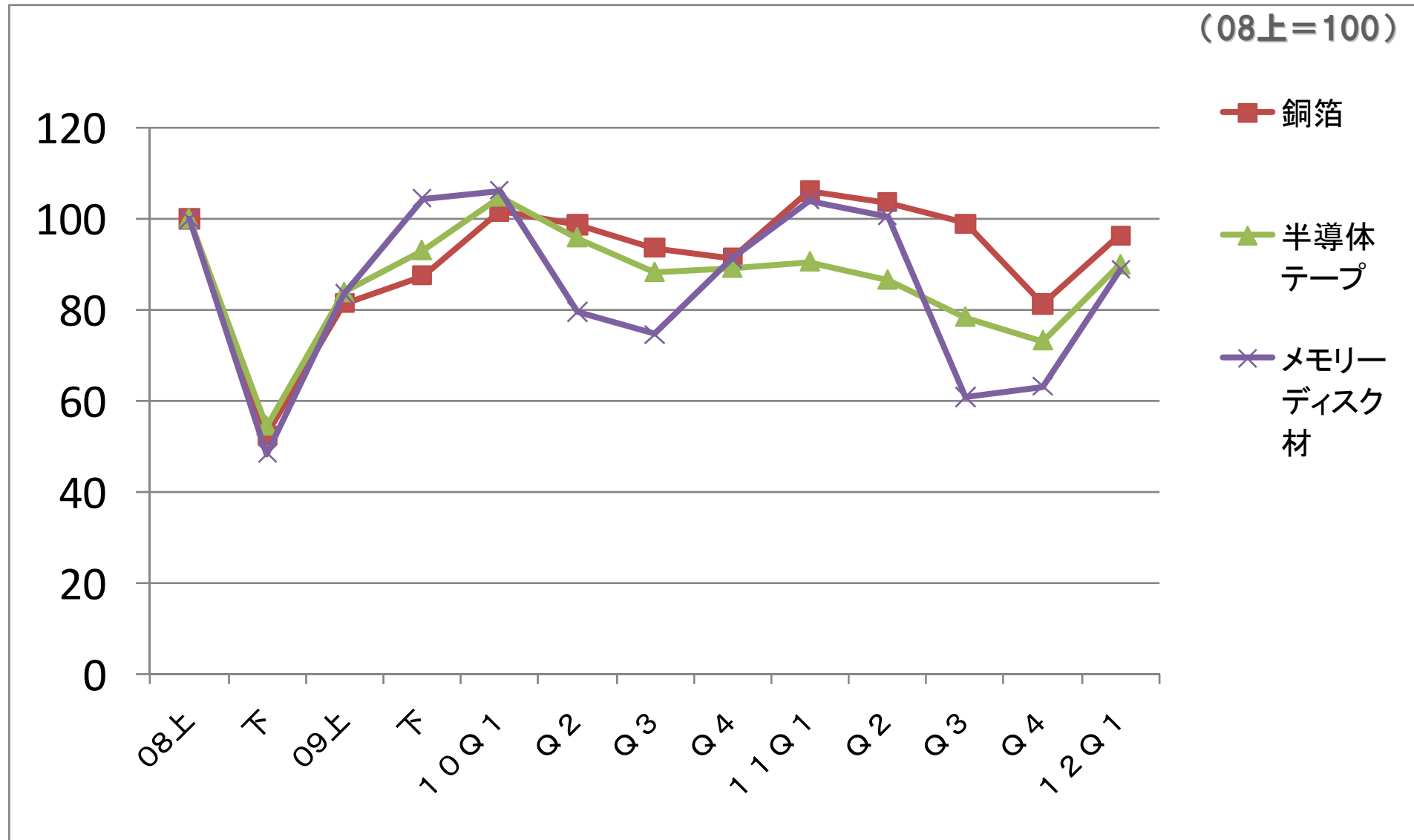
●自動車用アルミ熱交材は増加したものの、缶材や液晶・半導体装置向け厚板などの売上量が減少したため、減益となりました。

《液晶TV用MCPET》 売上量指数推移

FURUKAWA ELECTRIC



《高機能素材》 売上量指数推移



今期これまでの取り組み

●グローバル商圏拡大

《金属》

台湾で銅箔新工場立上げ
(回路用12年6月、電池
用同8月)

《情報通信》

中国の光ファイバ母材
ヘントンの合併立上げ
(12年7月)

《エネルギー》

超電導線材の米国
スーパーパワー社始動
(12年4月)

●事業構造の見直し

《エネルギー》

電力部品事業3社の
統合会社設立を決定
(12年10月1日～)

12年度PL予想 ≪当初予想から変更なし≫

FURUKAWA ELECTRIC
(単位:億円)

	a	b			b-a
	11実績	12予想	12上予	12下予	増減
売上高	9,188	9,800	4,600	5,200	+612
営業利益	159	250	80	170	+91
経常利益	129	235	65	170	+106
当期利益	-111	90	15	75	+201

前提

為替レート(円/ドル)	79.8	80
銅ベース(円/kg)	717.8	700
ドバイ原油(ドル/バレル)	110.0	115

※主要海外子会社は、決算期変更のため12年1月～13年3月の15カ月決算
⇒12予想PLへの影響:売上高+400、営業+17、経常+14、当期+8

ご清聴ありがとうございました。

Bound to  ***Innovate***